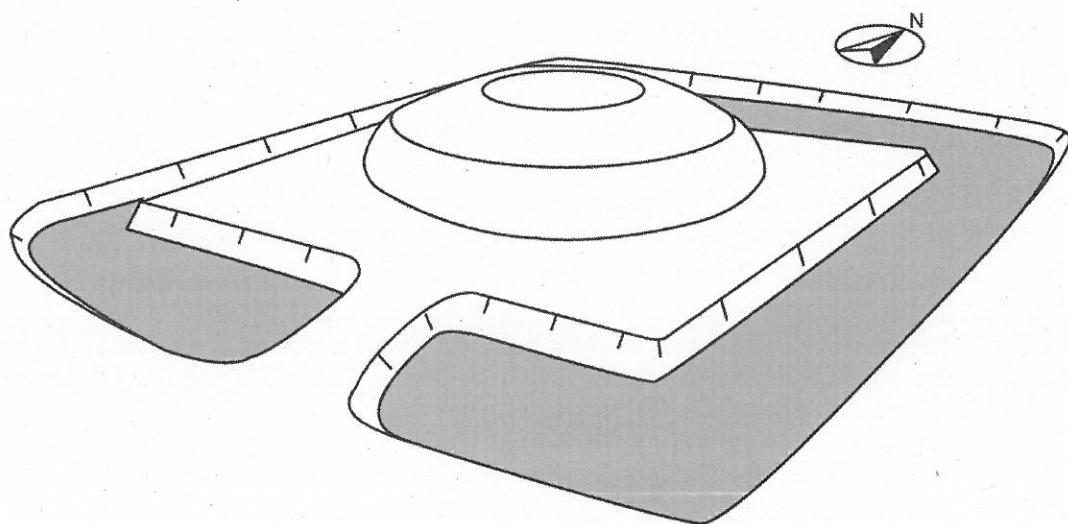


市指定史跡

山王塚古墳

発掘調査見学会 資料



平成28年8月27日(土)

川越市教育委員会

1 はじめに

山王塚古墳は、全国でも珍しい上円下方墳として、昭和33年に市指定史跡となりました。

これまでこの古墳の周辺では何回かの発掘調査が行われていますが、山王塚古墳の年代・被葬者等その実体は未だに明らかではありません。

こうした謎に迫る第一歩として川越市教育委員会では、平成24年度に墳形確認のための発掘調査を実施しました。

その後、詳細測量調査や埋葬施設の地下レーダー探査等を行い、本年度も史跡の内容を確認するための発掘調査を行っています。

今回の発掘調査見学会では、最新の発掘調査の成果をご覧いただくとともに、山王塚古墳の造られた時代背景・近隣の古墳群・他地域の上円下方墳などについてご説明いたします。

2 山王塚古墳の造られた時代

古墳は3世紀半ばから7世紀にかけて造られた高塚式のお墓です。

考古学では3世紀半ばから4世紀に造られたものを前期古墳、5世紀に造られたものを中期古墳、6世紀のものを後期古墳、7世紀を終末期古墳と呼び、時期区分しています。

これによれば、7世紀後半に造られたと考えられる山王塚古墳は終末期古墳として位置づけられます。

山王塚古墳が造られた7～8世紀は大化改新(645年)、壬申の乱(672年)を経て、日本が律令国家の建設に向け大きく揺れ動いた時代です。

この地域でも、中央の地方経営政策の一環として武蔵国への渡来人の移住がはじまり、霊亀2年(716)には高麗郡が建郡されます。

また、7世紀末には山王塚古墳の西方を南北に貫いて古代の官道である東山道武蔵路が建設されます。

古墳の出現以来権力のシンボルとして造られ続けてきた前方後円墳は、この時代すでに築造されなくなり、各地に初期寺院が造られるようになります。この近辺では、7世紀後半に創建された勝呂廃寺(坂戸市)や8世紀初頭の女影廃寺(日高市)などが有名です。

このように、旧来の体制が崩れ、新たな制度・価値観が創出される激動の時代に山王塚古墳は造られたのです。

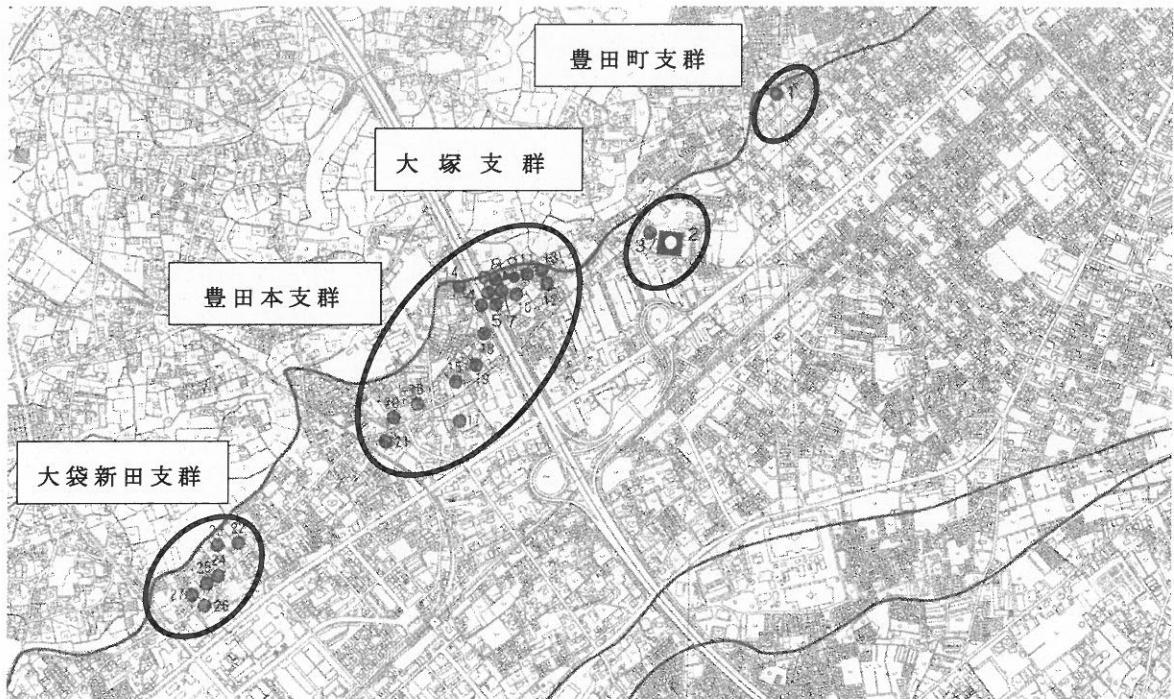
3 南大塚古墳群について

川越市内には下小坂古墳群（小畔川左岸台地）・的場古墳群（入間川左岸台地）・仙波古墳群（仙波台地北東縁）などの古墳群があります。これらはいずれも河川に臨む台地の縁辺に位置しています。

山王塚古墳の属する南大塚古墳群は入間川右岸にあり、台地縁辺に沿って約3kmにわたり古墳が点在しています。現在の入間川街道沿いに古墳が分布していると言うとわかりやすいでしょう。これらの古墳は大きく4つの支群に分けられます。地名をとって西方から、大袋新田支群、豊田本支群、大塚支群、豊田町支群と呼んでいます。

現在27基の古墳が確認されていますが、開発により消滅した古墳もあり、現存するのは本来の数より少なくなっています。これまでの調査から本古墳群は、小規模な前方後円墳（南大塚4号墳）と多くの小円墳からなる群集墳であり、5世紀前葉から7世紀代にかけて造られたことがわかっています。大塚支群に属する上円下方墳・山王塚古墳は最終段階の古墳と考えられ、これ以降、古墳は造られなくなります。

なぜこの場所に造られ、誰が眠っているのか、古墳時代の終りと古代の始まり、ふたつの時代をつなぐ謎を解く鍵となるのが山王塚古墳であると言えるでしょう。



第1図 南大塚古墳群の各支群

4 これまでの調査成果

平成 24 年度に行った第 1 次調査では、墳形確認のため墳丘南側の周溝と下方部に 3 本のトレンチ（1～3 号）を入れました。その結果、山王塚古墳が上円下方墳という全国的にも珍しい特異な形の古墳であることが改めて確認されました。また、上円部を築いた後、下方部が造られるという墳丘の構築順序も明らかとなりました。

平成 26 年度には主体部の地下レーダー調査を実施しました。その結果、上円部の中心から南側にかけて長さ 15m ほどの反応があり、横穴式石室を埋葬施設とする可能性がきわめて高いことがわかりました。

平成 27 年度の第 2 次調査では、山王塚古墳の範囲を確定するため、周溝および上円部にかけて 5 本のトレンチ（4～8 号）を設定しました。この調査では墳丘南側周溝の外縁が確認されるとともに、現在の山王祠参道と同じ位置に埋葬施設に至る陸橋が造られていることが明らかとなりました。また、上円部ではロームを丹念に版築した横穴式石室の裏込めが確認されました。また、下方部では外周にロームを盛って土手を築き、上円部との間に土を充填する築造工法が観察されました。

5 今回の発掘調査の成果

本年度の第 3 次調査は、周溝の補足調査と地下レーダー調査で存在が予想された横穴式石室の状況確認を目的として実施しました。

周溝には 3 本のトレンチ（9・10・13 号）を設定しました。これらの調査では、山王塚古墳の周溝が最大で上幅 15m に及ぶこと、下方部の構築に当たっては版築による基礎工事を行った後、ロームの土手を築いていることなどがわかりました。

今回の調査では、これまであまり調査されていない下方部の北側にもトレンチを入れました（11 号）。その結果、下方部北側でも外周にロームの土手を築いている状況が確認されました。

横穴式石室の調査では、地下レーダー調査の成果をもとに墓前祭祀の行われた前庭部から閉塞施設である羨道部にかけての位置にトレンチを設定しました（12 号）。調査では、握り拳大の河原石を敷いた床面が検出され、その上に石室の閉塞に使われたと思われる人頭大の河原石が崩れた状態で散在している様子が観察されました。

山王塚古墳第3次調査のみどころ

11号トレンチ
北側でも下方部
の外縁を確認!

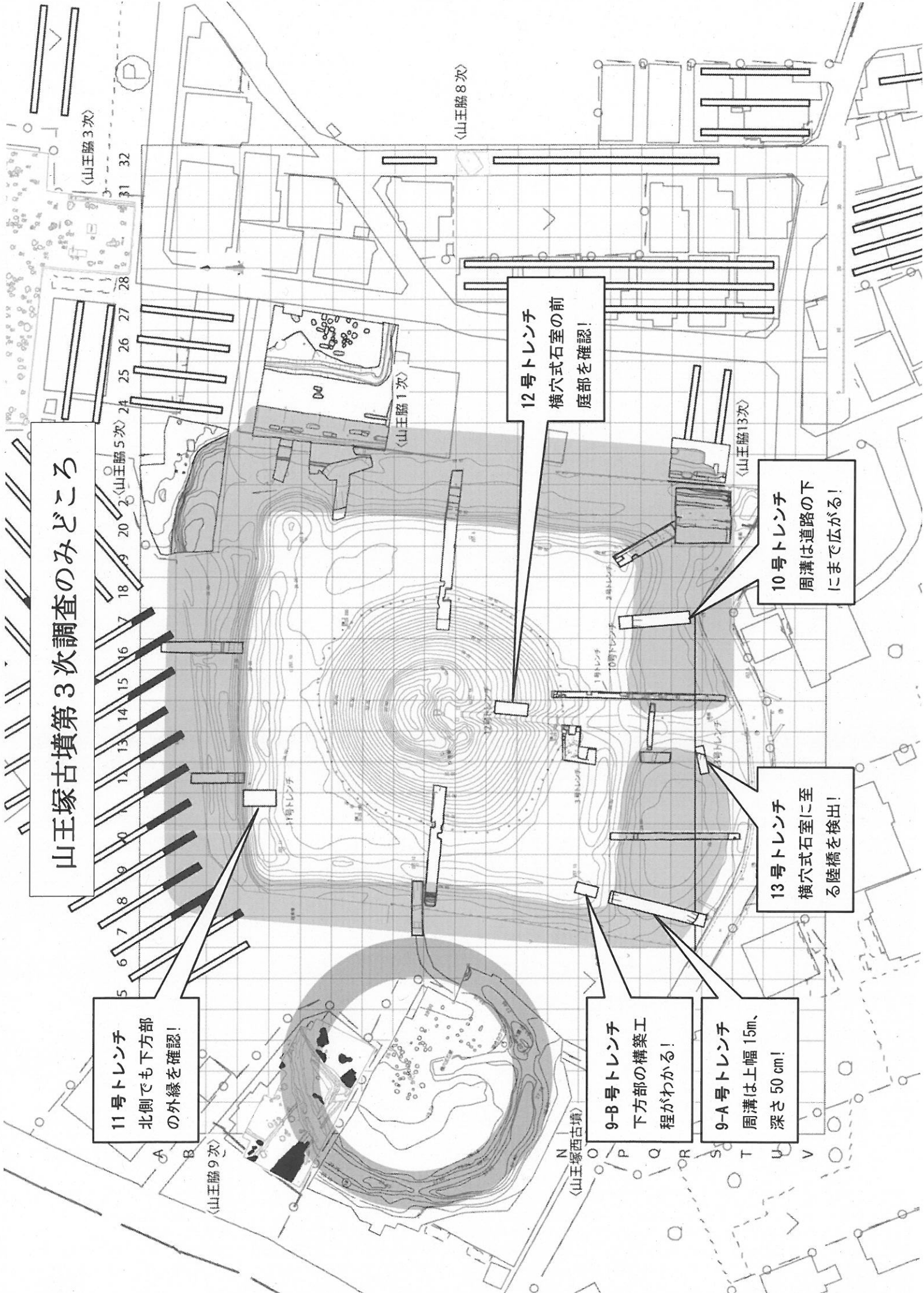
12号トレンチ
横穴式石室の前
庭部を確認!

10号トレンチ
周溝は道路の下
にまで広がる!

13号トレンチ
横穴式石室に至
る陸橋を検出!

9-B号トレンチ
下方部の構築工
程がわかる!

9-A号トレンチ
周溝は上幅15m、
深さ50cm!



〈山王塚8次〉

〈山王塚3次〉

31 32

28

27

26

25

24

20

18

16

15

14

13

12

9

8

7

6

5

4

3

2

1

0

11号トレンチ

10号トレンチ

9号トレンチ

8号トレンチ

7号トレンチ

6号トレンチ

5号トレンチ

4号トレンチ

3号トレンチ

2号トレンチ

1号トレンチ

0号トレンチ

山王塚西古墳

山王塚1次

山王塚2次

山王塚3次

山王塚4次

山王塚5次

山王塚6次

山王塚7次

山王塚8次

山王塚9次

山王塚10次

山王塚11次

山王塚12次

山王塚13次

山王塚14次

山王塚15次

山王塚16次

山王塚17次

山王塚18次

山王塚19次

山王塚20次

山王塚21次

山王塚22次

山王塚23次

山王塚24次

山王塚25次

山王塚26次

山王塚27次

山王塚28次

山王塚29次

山王塚30次

山王塚31次

山王塚32次

山王塚33次

山王塚34次

山王塚35次

山王塚36次

山王塚37次

山王塚38次

山王塚39次

山王塚40次

山王塚41次

山王塚42次

山王塚43次

山王塚44次

山王塚45次

山王塚46次

山王塚47次

山王塚48次

山王塚49次

山王塚50次

山王塚51次

山王塚52次

山王塚53次

山王塚54次

山王塚55次

山王塚56次

山王塚57次

山王塚58次

山王塚59次

山王塚60次

山王塚61次

山王塚62次

山王塚63次

山王塚64次

山王塚65次

山王塚66次

山王塚67次

山王塚68次

山王塚69次

山王塚70次

山王塚71次

山王塚72次

山王塚73次

山王塚74次

山王塚75次

山王塚76次

山王塚77次

山王塚78次

山王塚79次

山王塚80次

山王塚81次

山王塚82次

山王塚83次

山王塚84次

山王塚85次

山王塚86次

山王塚87次

山王塚88次

山王塚89次

山王塚90次

山王塚91次

山王塚92次

山王塚93次

山王塚94次

山王塚95次

山王塚96次

山王塚97次

山王塚98次

山王塚99次

山王塚100次

山王塚101次

山王塚102次

山王塚103次

山王塚104次

山王塚105次

山王塚106次

山王塚107次

山王塚108次

山王塚109次

山王塚110次

山王塚111次

山王塚112次

山王塚113次

山王塚114次

山王塚115次

山王塚116次

山王塚117次

山王塚118次

山王塚119次

山王塚120次

山王塚121次

山王塚122次

山王塚123次

山王塚124次

山王塚125次

山王塚126次

山王塚127次

山王塚128次

山王塚129次

山王塚130次

山王塚131次

山王塚132次

山王塚133次

山王塚134次

山王塚135次

山王塚136次

山王塚137次

山王塚138次

山王塚139次

山王塚140次

山王塚141次

山王塚142次

山王塚143次

山王塚144次

山王塚145次

山王塚146次

山王塚147次

山王塚148次

山王塚149次

山王塚150次

山王塚151次

山王塚152次

山王塚153次

山王塚154次

山王塚155次

山王塚156次

山王塚157次

山王塚158次

山王塚159次

山王塚160次

山王塚161次

山王塚162次

山王塚163次

山王塚164次

山王塚165次

山王塚166次

山王塚167次

山王塚168次

山王塚169次

山王塚170次

山王塚171次

山王塚172次

山王塚173次

山王塚174次

山王塚175次

山王塚176次

山王塚177次

山王塚178次

山王塚179次

山王塚180次

山王塚181次

山王塚182次

山王塚183次

山王塚184次

山王塚185次

山王塚186次

山王塚187次

山王塚188次

山王塚189次

山王塚190次

山王塚191次

山王塚192次

山王塚193次

山王塚194次

山王塚195次

山王塚196次

山王塚197次

山王塚198次

山王塚199次

山王塚200次

山王塚201次

山王塚202次

山王塚203次

山王塚204次

山王塚205次

山王塚206次

山王塚207次

山王塚208次

山王塚209次

山王塚210次

山王塚211次

山王塚212次

山王塚213次

山王塚214次

山王塚215次

山王塚216次

山王塚217次

山王塚218次

山王塚219次

山王塚220次

山王塚221次

山王塚222次

山王塚223次

山王塚224次

山王塚225次

山王塚226次

山王塚227次

山王塚228次

山王塚229次

山王塚230次

山王塚231次

山王塚232次

山王塚233次

山王塚234次

山王塚235次

山王塚236次

山王塚237次

山王塚238次

山王塚239次

山王塚240次

山王塚241次

山王塚242次

山王塚243次

山王塚244次

山王塚245次

山王塚246次

山王塚247次

山王塚248次

山王塚249次

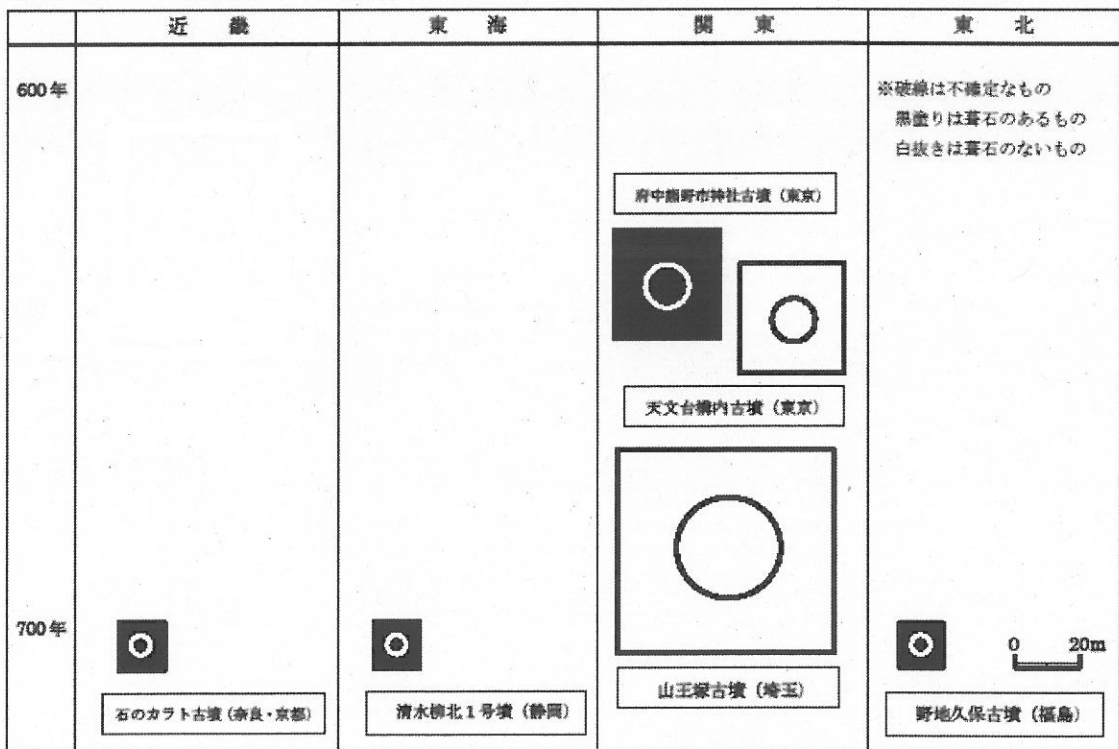
山王塚250次

6 上円下方墳とは何か

7世紀から8世紀、墓制の上でも大きな変化が起きました。畿内では巨大な前方後円墳に代わり、小さな円墳・方墳・八角墳が築造されます。上円下方墳もこうした一連の流れの中で登場します。

7世紀後半、関東地方では横穴式石室を埋葬施設とした大型の上円下方墳が築造されます。武蔵府中熊野神社古墳(東京都・一辺 32m)は全長9m、天文台構内古墳(東京都・一辺 30m)は全長7m、共に切石切組・複室構造の横穴式石室を持ちます。また、墳丘を葺石で覆うもの、葺石を持たないものの2つのタイプがあります。山王塚古墳は葺石の無い天文台構内古墳と類似した構造をもちます。

7世紀末から8世紀初め、各地に小規模な埋葬施設を持つ小型の上円下方墳が築かれます。近畿地方には石のカラト古墳(奈良県・京都府・一辺 14m)、東海地方には清水柳北1号墳(静岡県・一辺 13m)、東北地方には野地久保古墳(福島県・一辺 16m)が造られます。石のカラト古墳と野地久保古墳は横口式石槨、清水柳北1号墳は火葬骨を納めた石櫃を埋葬施設とします。



第3図 各地の上円下方墳の規模と築造年代